

2007年2月6日

住友化学株式会社

三大感染症世界ビジネス連盟（GBC）への参加について

住友化学は、「三大感染症世界ビジネス連盟」（正式名称：Global Business Coalition on HIV/AIDS, Tuberculosis and Malaria 以下、「GBC」）に、日本企業として初めて参加することといたしました。GBCは、2001年に設立され、企業の独自技術やノウハウの活用を通じて三大感染症であるエイズ、結核、マラリアの撲滅に取り組む非営利団体で、現在は欧米企業を中心に約220社が参加しています。

当社は、マラリア予防に効果のある防虫剤処理蚊帳「オリセット®ネット¹」を独自技術により開発し、国連児童基金（UNICEF）、世界保健機関（WHO）等の国際機関を通じてアフリカを中心とする50カ国以上の国々に供給しています。増大する需要に応じるため、2003年度にタンザニアの蚊帳メーカーに技術が無償で供与し現地での量産体制を整えたほか、2005年度からは中国、ベトナム等の生産拠点を拡充し、大幅な生産能力の増強を図っています。また、今年度には、「ミレニアム開発目標²」でも掲げられている極度の貧困の撲滅を目的として米国で組織された非営利団体「ミレニアム・プロミス」へ約33万張りを寄付する等、マラリア対策に積極的に取り組んでいます。

今後は、GBCのサポートも得て参加企業やその他の関係先機関とも連携を図りながら、取組みをより充実させていく予定です。

世界におけるマラリアの被害は深刻な状況で、年間100万人以上が亡くなり、その多くはサハラ以南のアフリカで発生し、しかも犠牲者の大半は5歳以下の子供です。

当社は、CSRを経営の重要な柱の一つと位置付けさまざまな活動を行っております。これからもオリセット®ネットを通じたマラリア対策への協力を、重要なCSRプロジェクトの一つと位置付け、積極的に取り組んでまいります。

1 オリセット®ネット

蚊帳を織る系の原料の樹脂に防虫剤(ペルメトリン)を練り込んであるため、耐久性に優れ、洗濯しても有効成分がにじみ出てきて効果が5年以上持続する点がWHOからも高く評価されています。

2 ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals：MDGs）

ミレニアム開発目標は、国際連合が2000年9月に採択した国連ミレニアム宣言にもとづき、貧困、教育、環境、人権など8つのテーマについて、達成すべき目標とアクションプランを定めたものです。

以上